



なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 17

平成 24 年 12 月 21 日

充実した二学期に感謝

保・小・中の合同避難訓練でスタートし、F・B・C審査、5年生の山の学習、6年生の修学旅行、学芸会、合同訪問（ESD研究授業）、マラソン大会、各種集会やパーティーなどの行事をすべて思い出に残る充実したものにすることができました。晴天にも助けられて、ほぼ及第点をつけられると思っております。すべて、保護者の皆様や学区の諸団体の方々のご協力がいただけたからこそ、と感謝申し上げます。



教育長報告



岡崎市長報告

岡崎市六ツ美中部小学校がこのほど、フラワー・ブラボー・コンクール（F・B・C）の秋花壇コンクールで最優秀に当たる愛知県大賞を受賞した。十四日に緑化委員の六年生三人が市役所を訪問して、内田康宏市長に結果報告をした。

コンクールは花壇の大きさは問わないが、一万粒の種が参加各校に配布され、発芽率やいかにきれいに咲かせるかなどを競う。昭和三十九（一九六四）年から始まったコンクールに同校は平成二年から参加。今回初めて愛知県大賞を受賞した。

サルビアの赤がほかと比べてきれいに咲いたこともあり「品格のある花壇」と審査員から評されたという。同校では現在、「花育」を教育方針としている。

緑化委員長の萩原輝世さんは「みんなの協力があったからこそ取れた賞だと思います」、副委員長の成瀬亜美さんは「地域の人にも知ってもらえるようにこれからも頑張りたいです」、書記の牧野綾音さんは「花壇は学校の誇りです」とそれぞれ喜んだ。苦勞した点には、種が小さ過ぎたためつまようじを使って土に穴を開けたことを明かした。

内田市長は「素晴らしい結果。地域にも貢献し、今後も続くよう頑張ってもらいたい」とたたえた。「東海愛知新聞より」

いま、研究推進に向けて

「教科・領域の相互にある「つながりのわけ」を明確にしたESDカレンダーの構築が素晴らしい。今の子どもたちの姿からどの力を伸ばす必要があるのかを見つめ直し、仮説や重点を絞って研究を進めるとよい。」

「学年の発達段階を考慮した年間目標が大変明快に示されている点が良い。また、地域教材の開発に取り組み、学区の人・もの・ことを体験的に学ぶ活動を位置付けた点も価値がある」「種取り」や「花の名前あてクイズ」など、FBC花壇の活動が実物を交えて展示され、ESDとしての活動につなげてある点が良い。」

「真剣に自分の思いを話す子供の様子は、調べたことを自分事としてとらえて考えようとする素晴らしい姿である。」

学校の様子を見て、指導員の先生方から指導して頂きました。課題も多くありますが、「持続可能な発展する社会」を担っていく子供たちを育てることが私たちの使命です。

《 本の紹介 》

3.11が教えてくれた

防災の本

③二次災害（4シリーズ）

監修 片田敏孝

かもがわ出版

二次災害にあわないために

か・火災にまきこまれない

き・気温をチェック

く・くつをはいて避難

け・けがを防ごう

こ・交通安全を確かめよう